環境まちづくり方針

		平成 年 (年)	月 日
	住	所 大阪市中央区久太郎	ß⊞T4-1-3
吹田市長 あで		名 伊藤忠都市開発株式	
	電話者	大阪開発事業部長	井筒 康发
	※注1 東書話 住	所 大阪市中央区難波2	丁目2番3号
	事業所 氏	名 近鉄不動産株式会社	1 2 2 2 W
	電話者	代表取締役 澤田 化	党郎
事業の名称	电品币	00 (0212)0002	
	火 田 市 千里山西3丁目549-26		
	注 所 大阪市北区堂島2-1-3		
	氏 名 浅井謙建築研究所株式	会社 梅垣 浩之	
30000	電話(06)6341	- 0082 (担当者: 佐·	々木 克之)
	次田市		,
1	主 所		
	未定		
工 事 施 工 者 F 	氏 名		
Ē	電話()		
 事業予定期間	平成 年 (年) 月 1	目 から
学 未了	平成 年	(年)	日まで
	計画	部分 既存部分	合 計
, ,	対象事業面積 / 1984	40 m	m 1198448 m
<u> </u>	建築面積 4868	3.85 m i	m ² 4868.85 m ²
7 77 77 77		6.05 m²	m 15126.05 m
<u></u>	最高の高さ	1.99 m	m
*	黄 造 ・ 階 数	尺∠造・一部	造
,,	地	上 3 階 • 地	2 下 / 階
区			斤設 □ 増設
	土地区画整理事業 🗆		80 - 30
	宅 地 造 成 🗹	開発行為事業(目的	共同住宅新築)
	建築物の新築又は増改築の		
事業の目的・内容	□ 工場・事業場 白	住宅・共同住宅([40 戸)
	□ 商業施設□	事 務 所 🗆 公共	的建築物
	□その他(i) J
6	駐車場又は資材置場の	新設又は増設の事業	受 付
	その他()	
環境まちづくりの内容	ヴイドライン取組事項チェックリン	ストによる	
	ガイドライン取組事項チェックリ	スト	
添付書類.	工事関連車輌通行ルート図		
	その他必要と認める図書		第 号

環境まちづくりの概要(1)

事業者の環境方針

環境に配慮した住宅の供給に積極的に取り組む。

人と社会、自然環境との共生を実現し、「地球温暖化」「地球資源」「自然環境」を重要な環境問題テーマと設定。 かけがえのない地球を守り、広く社会に貢献するため「チーム・マイナス6%」への参加、「グリーン電力」の積極的採用など、全社会的な取り組みを進めている。

当該事業における 環境まちづくり方針 地域のまちづくりに貢献するものとする。

開発、建築を行うにあたり、環境に配慮した住宅を供給し、良好な景観形成、緑地の増加、ヒートアイランド現象の緩和等を行い、

- 1. 実施率と主な実施内容
- 1-1. 工事中

実施率

78.7 パーセント

実施する・一部実施するの項目数

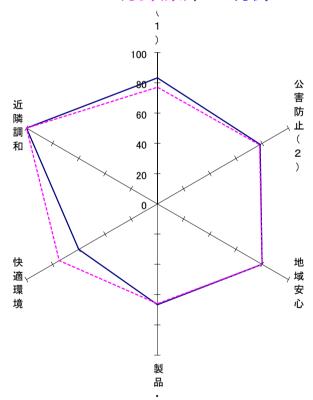
37

(小数点第2位以下切り捨て)

該当なしを除いた項目数

47

---:方針(案), —:方針

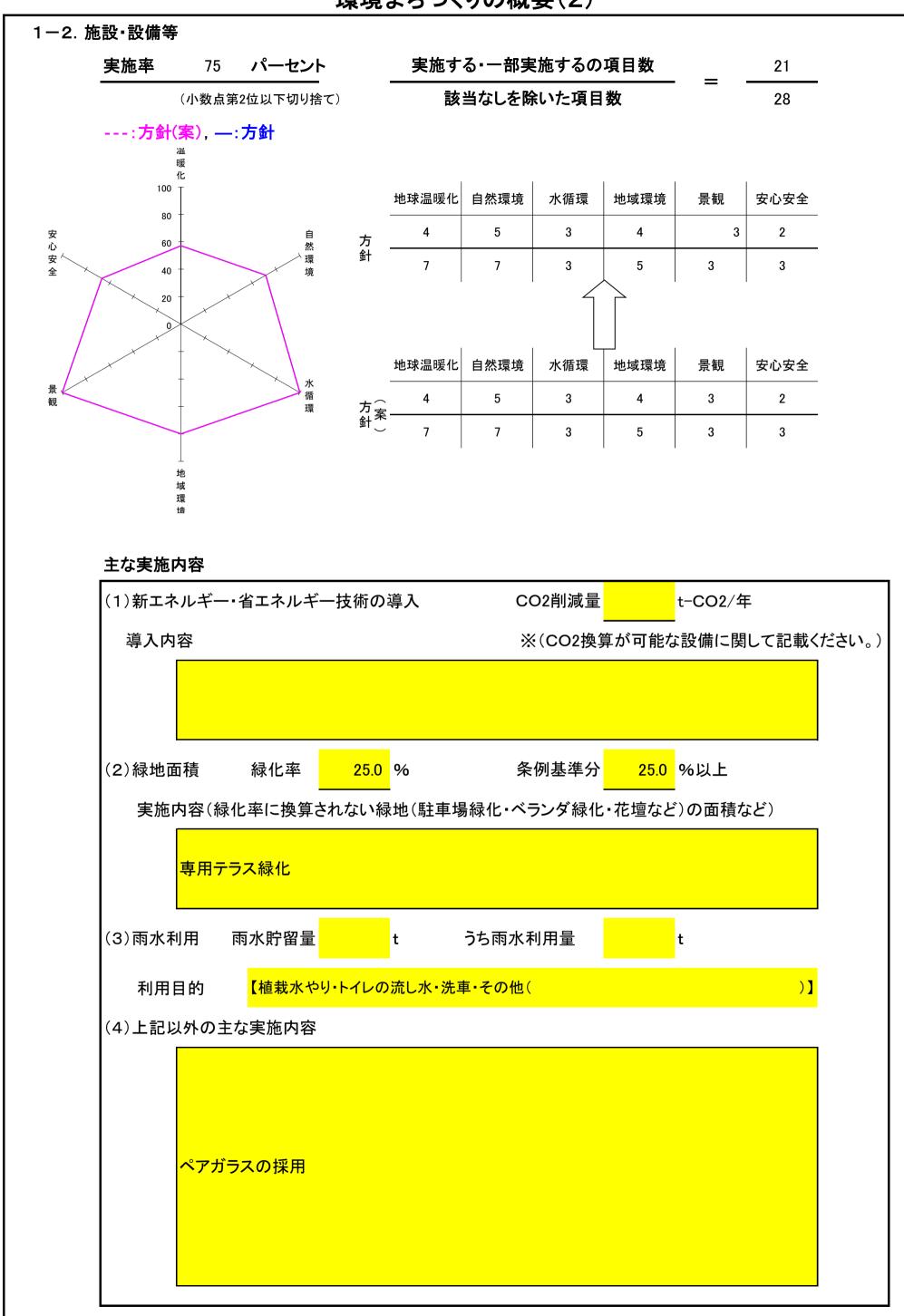


	公害防止(1)	公害防止(2)	地域安心	製品·工法	快適環境	近隣調和
方 針	15	11	4	2	3	2
針	18	14	5	3	5	2
	公害防止(1)	公害防止(2)	地域安心	製品・工法	快適環境	近隣調和
方(全 全 全 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大	14	11	4	2	3	2
針一	18	14	5	3	4	2
		'		'		'

主な実施内容

公害防止については、工事業者決定後に内容説明を行い、可能な限り実施するものとする。 地域安心については、工事業者決定後、内容説明を行い、事故防止に努めるものとする。 製品・工法については、工事業者決定後に内容説明を行い、建築副産物の発生を抑えるものとする。 快適環境については、工事業者決定後に内容説明を行い、近隣住民の方に不快感を与えないように努めるものとする。 近隣調和については、工事実施前に十分に説明を行い、理解していただけるよう努めるものとする。

環境まちづくりの概要(2)



環境まちづくりの概要(3)

項目番号	修正前のチェック内容	修正後のチェック内容
2	実施しない	一部実施する
	現段階では、施工業者未定のため回答	「現段階では~できませんが、」を削除
	できませんが、実施する方向で検討す	
	るよう指示いたします	
7	実施する	実施する
	現段階では、施工業者未定のため回答	「現段階では~できませんが、」を削除
	できませんが、実施する方向で検討す	
	るよう指示いたします	
48	該当なし	実施しない
53	省エネ効果の高い設備の採用を検討	LED照明、エコジョーズによる省エネ
	します	効果の高い設備を採用します
76	剪定	選定
78	周辺に幹線道路および鉄道はありませ	周辺に教育施設、福祉施設、医療施設
	ん。施設はありません	はありません

・他(本ガイドライ	イン記載の取組事項以外	トに実施する環境まちづく	りの取組を記載ください。))

●工事中におけるガイドライン取組事項チェックリスト

本事業を実施するにあたっては、事業による環境への影響を最小限にとどめるため、法律、条例等の規制基準を遵守することはもとより、以下のとおりガイドライン取組事項を実施します。

大気汚染ヤ 建設機械	や騒音などの公害の防止				実施の)有無	Ħ.		実施内容(実施、一部実施する場合はその内容及び方法、実施しない及び該当なしの場合は理由を記入してください。)
1	排出ガス対策型、低騒音型、低振動型の 建設機械を使用します。	□ :	実施する		一部実施する	V	実施しない	該当なし	現段階では施工者未定のため回答できませんが、実施する方向で 検討するよう指示致します。
	低燃費型の建設機械(ハイブリッド式パワーショベル等)を使用します。		実施する	√	一部実施する		実施しない	該当なし	実施する方向で検討するよう指示致します。
	空ぶかしやアイドリングを抑制するなど、 環境に配慮した運転を行います。	V ;	=		一部実施する		実施しない	該当なし	不必要な空ぶかし、アイドリングをしないよう、新規入場者教育の 場で、指導致します。
	工事規模に応じた効率的な工事計画を立 て、稼働台数を抑制します。	V	実施する		一部実施する		実施しない	該当なし	工事計画を立案し稼働台数を抑制します。
5	一時的に集中して稼働しないよう、工事 の平準化を図ります。	V	=		一部実施する		実施しない	 該当なし	工事計画を立案し工事の平準化を図ります。
6	機械類は適切に整備点検を行います。	V	=		一部実施する		実施しない	該当なし	定期的に整備点検を行います。
工事関連耳	一								
7	燃費や排出ガス性能のよい車両を使用し ます。	V ;	実施する		一部実施する		実施しない	該当なし	実施する方向で検討するよう指示致します。
8	大阪府条例(大阪府生活環境の保全等に関する条例)に基づく流入車規制を、全ての車両で確実に遵守します。	v į	実施する		一部実施する		実施しない	該当なし	大阪府条例を遵守致します。
	工事関連車両であることを車両に表示し ます。	V ;	実施する		一部実施する		実施しない	該当なし	工事関係車両については、車両前面に本工事関係車両である事 がわかるようにステッカー等を掲示します。
10	工事関連車両の走行ルートや時間帯は、 周辺道路の状況、住居の立地状況等に 配慮して、一般交通の集中時間帯及び通 学時間帯を避けて設定します。	V ;	ェ施する		一部実施する		実施しない	 該当なし	工事車両運行ルートは周辺道路、住居の立地状況を勘案し、現場 前に誘導員を配置し、一般の交通、登下校時の安全確保に努めま す。
11	建設資材の搬出入計画において、適切な 車種を選定することで車両台数を抑制し ます。	п ;	=		一部実施する	▽	実施しない	 該当なし	現段階では施工者未定のため回答できませんが、実施する方向で 検討するよう指示致します。
12	作業従事者の通勤、現場監理等には、徒歩や二輪車、公共交通機関の利用又は相乗りを奨励し、工事関連の車両台数を 抑制します。		=		一部実施する	. 	実施しない		現段階では施工者未定のため回答できませんが、実施する方向で 検討するよう指示致します。
13	ダンプトラックによる土砂の積み降ろしの際には、騒音及び振動に配慮します。	▽	=				実施しない	 該当なし	細心の注意を払い作業を行うように配慮します。
14	周辺への土砂粉じん飛散を防止するた め、現地でタイヤ洗浄を行います。	V ;	 実施する 		一部実施する		実施しない	該当なし	車両出入口にてタイヤの洗浄を行います。

	コンクリートミキサー車のドラム洗浄を行う際には、騒音及び水質汚濁に配慮します。	∀	実施する	一部実施する		実施しない		該当なし	細心の注意を払い作業を行うように配慮します。
16	コンクリートミキサー車等を場外に待機させません。	V	実施する	一部実施する		実施しない		該当なし	現場周辺道路では待機しないようにします。
17	クラクションは必要最小限にします。	V	実施する	一部実施する		実施しない		該当なし	不必要なクラクションは鳴らさないよう指導します。
18	空ぶかしやアイドリングを抑制するなど、 環境に配慮した運転を行います。	▽	実施する	一部実施する		実施しない		該当なし	不必要な空ぶかし、アイドリングをしないよう、新規入場者教育の 場で、指導致します。
工事方法									
騒音•振動	等 [
19	遮音性の高い仮囲いや防音シート・防音 パネルを設置します。	✓	実施する 	一部実施する		実施しない		該当なし	敷地境界沿いに万能板及びシート仮囲いを設置します。
20	建設資材の落下を防止する等、丁寧な作 業を行います。	V	実施する	一部実施する		実施しない		該当なし	丁寧な作業を行います。
21	杭の施工等の際には、騒音や振動の少 ない工法を採用します。		実施する	一部実施する	V	実施しない		該当なし	現段階では回答できませんが、実施する方向で検討致します。
22	騒音・振動を伴う作業は、近隣に配慮した 時間帯に行います。		実施する	一部実施する	V	実施しない		該当なし	現段階では施工者未定のため回答できませんが、実施する方向で 検討するよう指示致します。
粉じん・アス	スベスト								
23	解体、掘削作業等の際には、散水を十分 に行います。	V	実施する	一部実施する		実施しない		該当なし	出来る限りの散水を行います。
24	土砂等が露出している場合は、シートで 覆います。		実施する	一部実施する	V	実施しない	_	該当なし	現段階では回答できませんが、実施する方向で検討致します。
25	建築物等の解体の際、アスベストの使用 の有無を調査するとともに、調査結果を 近隣住民の見やすい位置に掲出し、市に も報告します。		実施する	一部実施する		実施しない	∀	該当なし	アスベストの使用なし。
	アスベストを含有する建築物等の解体の際には、確実な飛散防止措置を行います。		実施する	一部実施する		実施しない	→	該当なし	アスベストの使用なし。
		1							<u>I</u>

水質汚	濁•								
2	7		7	実施する	一部実施する □	実施しない		該当なし	敷地内で流出防止の対策をします。
2	8	塗料等の揮発を防止し、使用済みの塗料 缶や塗装器具の洗浄液は適正に処分し ます。			 一部実施する □	実施しない			適正に管理します。
2	9	土壌汚染の状況を調査し、汚染物質の拡 散防止措置を行います。		実施する	 一部実施する □	実施しない			調査を行い、汚染物質があれば、適性に措置します。
3	0	地盤改良の際は、土壌や地下水を汚染しない工法を採用します。	-	· 実施する	 	 実施しない			地盤改良を行う際は適正な工法を採用致します。
3	1	周辺地盤や家屋等に影響を及ぼさない工 法を採用します。	· · ·	実施する	 一部実施する □	実施しない			周辺地盤、家屋に出来る限り影響を及ぼさない工法を採用します。
悪臭∙廃	蓬棄	物							
3		アスファルトを溶融させる際は、場所の配 慮、溶解温度管理など臭気対策を行いま す。		実施する	一部実施する □	実施しない		該当なし	場所の配慮及び温度管理を行います。
3	3	現地では廃棄物等の焼却を行いません。	V	実施する	一部実施する □	実施しない		該当なし	現地で焼却は行いません。
3	4	解体を伴う工事の際は、保管されているPCB使用機器や空調機器等に使用されているフロン類、その他有害廃棄物の状況を工事実施前に調査し、環境汚染とならないよう適正な処理を行います。		実施する	 一部実施する □	実施しない	▽	該当なし	有害物質はありません。
3	5	仮設トイレを設置する場合は、適切なメン テナンスや設置場所の配慮などにより臭 気対策を行います。	V	実施する	一部実施する □	実施しない		該当なし	適切なメンテナンス、設置場所の配慮、臭気対策を行います。
		安全に貢献します。 事故防止							
		近隣自治会等から地域の交通情報の聴き取りを行い、十分な人数の警備員を配置し事故防止に努めます。		実施する	一部実施する □	実施しない			警備員を配置し事故防止に努めます。
3	7	児童・生徒が安全に登下校できるよう、 工事現場周辺の交通安全に配慮します。	-		 一部実施する □	実施しない		 該当なし	交通安全に配慮します。
3	8	夜間・休日に関係者以外の者が工事現場 に立ち入らないよう出入口を施錠するな どの対策を講じます。		実施する	 一部実施する □	実施しない		該当なし	施錠するなどの対策を講じます。
防犯									
3	9	登下校中や放課後の児童・生徒の見守り や声かけ等に取組みます。	V	実施する	一部実施する □	実施しない		該当なし	誘導員より見守り、声掛け等を行うよう取り組みます。
4	0	近隣自治会等と連携し、地域の防犯活動 に参加します。	, 	実施する	一部実施する 🔽	実施しない		該当なし	施工者決定後、実施する方向で検討するよう指示致します。

環境に配慮	ました製品及び工法を採用します。 ままで表現のでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これ)				
省エネルキ	<u></u>					
41	エネルギー効率のよい機器の導入等により、工事中に使用する燃料、電気及び水 道水等の消費を抑制します。	□ 実施する	□ 一部実施する ☑	実施しない □	該当なし	施工者決定後、実施する方向で検討するよう指示致します。
建設副産物	勿					
42	建設発生土は現地での埋め戻しに使用す る等、残土の発生を抑制します。	☑ 実施する	□ 一部実施する □	実施しない	該当なし	現地での埋め戻しに使用する等、残土発生抑制に努めます。
43	資材の梱包等を最小限にして廃棄物を減 量します。	☑ 実施する	□ 一部実施する □	実施しない 🗌	該当なし	出来る限り廃棄物の減量を行います。
快適な環境	<u> </u> 竟づくりに貢献します。					
工事中の影						
44	仮囲いの設置にあたっては、機能性を確保した上で、景観面にも配慮します。	☑ 実施する	□ 一部実施する □	実施しない 🗌	該当なし	仮囲いは景観面にも配慮します。
45	仮設トイレは、近隣住民及び通行者に不 快感を与えないよう、設置場所等を工夫 します。	☑ 実施する	□ 一部実施する □	実施しない	該当なし	設置場所等を工夫致します。
周辺の環境						
46	工事現場内外を問わず、ポイ捨てを防止 し、周辺道路の清掃を行います。	□ 実施する	□ 一部実施する ☑	実施しない	該当なし	施工者決定後、実施する方向で検討するよう指示致します。
47	建設資材や廃棄物等の場内整理を行い ます。	☑ 実施する	□ 一部実施する □	実施しない	該当なし	場内の整理整頓を行います。
ヒートアイラ	ランドの緩和					
48	夏期において水道水以外の用水が確保 できる場合は、周辺道路などに打ち水を 行います。	□ 実施する	□ 一部実施する ☑	実施しない	該当なし	水道水以外の用水確保不可。
近隣との訓	問和を図ります。					
工事説明・	苦情対応					
49	近隣住民に工事実施前に工事概要、作 業工程等を十分説明し、また工事実施 中も適宜、現況と今後の予定を知らせ し、理解を得るようにします。	☑ 実施する	□ 一部実施する □	実施しない □	該当なし	近隣住民に理解を得るよう努めます。
50	工事に関しての苦情窓口を設置し連絡 先等を掲示するとともに、苦情が発生 した際には真摯に対応します。	☑ 実施する	□ 一部実施する □	実施しない □	該当なし	連絡先を掲示し、苦情が発生した場合は真摯に対応します。
周辺の教育	ー 育、医療、福祉施設への配慮 -					
51	工事実施前に工事概要、作業工程等を 十分説明するとともに、施設での行事 や利用状況に配慮した工事計画にしま す。	□ 実施する	□ 一部実施する □	実施しない 🔽	該当なし	周辺に施設はありません。
52	騒音、振動、通風及び採光等に特段の 配慮をします。	□ 実施する	□ 一部実施する □	実施しない 🗹	該当なし	周辺に施設はありません。

●施設・設備等に係るガイドライン取組事項チェックリスト

本事業を実施するにあたっては、法律、条例等の規制基準を遵守することはもとより、事業による環境への影響を最小限にとどめ、また、新たな環境負荷の発生を事前に防止するとともに、地域の環境レベル向上に貢献するため、以下のとおりガイドライン取組事項を実施します。

地球温暖们	ヒ対策を行います。 				実施の有	無			実 施 内 容 (実施、一部実施する場合はその内容及び方法、、 実施しない及び該当なしの場合は理由を記入してく ださい)
53	空調、照明、給湯、昇降機等の設備に ついて、高効率、省エネルギー型の機 器を採用します。		実施する	☑	一部実施する □	実施しない			LED照明、エコジョーズによる省エネ効果の高い設備の採用を検 討します。
54	太陽光や太陽熱、風力などの新エネルギーを活用します。		実施する		一部実施する 🖸	実施しない		該当なし	共同住宅であるため、導入致しません。
55	地域冷暖房、コージェネレーションシステムなどのエネルギー供給システムを導入するなど、エネルギー効率を高めるための工夫をします。		実施する		一部実施する 🖸	実施しない		該当なし	共同住宅であるため、導入致しません。
56	採光や通風性の考慮や断熱性能を向上 させることで、建築物のエネルギー負 荷を抑制します。		実施する		一部実施する □	実施しない		該当なし	建築物のエネルギー負荷を抑制を図ります。
57	基本構造の耐久性を高め、長寿命の建 築物を施工します。	7	実施する		一部実施する □	実施しない		該当なし	基本構造の耐久性を高め、建築物の長寿命化を図ります。
	リサイクル製品・間伐材等の資源循環 や環境保全に配慮した製品を積極的に 採用します。		実施する		一部実施する □	実施しない		該当なし	リサイクル製品を採用を図ります。
59	高炉セメント等、製造に要するエネル ギーが少ない建設資材等を積極的に採 用します。		実施する		一部実施する 🖸	実施しない		該当なし	実施する方向で検討しますが、現段階では未定です。
自然環境を何	保全し、みどりを確保します。								
60	事前に事業計画地及びその周辺の自然 環境調査を行い、動植物の生息・生育環 境に配慮します。		実施する		一部実施する □	実施しない		該当なし	周辺地域に調和した計画とします。
	地域のシンボルとなっていた大きな樹木は、できるだけ伐採を避け、既存の植生 や地形を活かして設計します。		実施する		一部実施する 🖸	実施しない		該当なし	既存植樹はすべて伐採します。
	既存の植生・地形を改変する場合は、移植等により既存の植生の保全を図るとともに、表土は適切に保管し、植栽などに利用します。		実施する		一部実施する 🖸	実施しない		該当なし	既存植樹はすべて伐採します。
63	事業計画地に隣接する緑地等がある場合には、緑地等を連続させて配置するなど、生物の生息空間の保全に努めます。		実施する		一部実施する □	実施しない	7	該当なし	隣接地に緑地はありません。
64	駐車場の緑化を行います。		実施する	V	一部実施する □	実施しない		該当なし	一部植栽ブロックを採用します。
	屋上緑化、壁面緑化、ベランダ緑化など を行います。	 ∶	実施する		一部実施する 🏻	実施しない		該当なし	壁面緑化を行います。
	開発により生じた法面に対して緑化を行 います。	□	実施する		一部実施する □	実施しない		該当なし	法面の緑化を行います。
67	植栽樹種は、在来の植物を選定します。			7	一部実施する □	実施しない		該当なし	従来の植物を剪定するよう努めます。

水循環を確何	ー 呆します。 								
68	雨水を利用する設備(雨水タンク、散水 設備等)を導入し、水の循環的な利用を 促進します。		実施する	7	一部実施する □	実施しない		該当なし	雨水の再利用を行います。
	事業区域の面積に応じて、雨水流出を抑制するために、雨水貯留型施設または雨水浸透施設等を設置します。		実施する	7	一部実施する □	実施しない		該当なし	雨水貯留槽を設置します。
70	オープンスペース・駐車場などについては透水性のある舗装やインターロッキングブロック等を採用し、地表面をコンクリート等で覆うことのないよう雨水浸透に配慮します。		実施する	V	一部実施する □	実施しない		該当なし	一部に透水性インターロッキングを採用します。
周辺地域の:	生活環境を保全します。								
騒音•振動等	<u> </u>								
	空調機等の騒音を発生させる設備の設置においては、低騒音型機器の採用や壁等の遮音性の確保、設置場所に配慮するなど、騒音・振動対策を行います。	V	実施する		一部実施する □	実施しない		該当なし	騒音を発生させる設備の設置場所に配慮します。
72	近くに幹線道路や鉄道があり騒音の影響が考えられる場合には、予め窓等に 防音サッシを設置します。		実施する		一部実施する □	実施しない	7	該当なし	周辺に幹線道路及び鉄道はありません。
	周辺環境への自動車の排気ガス及び騒音を防止するため、駐車場の配置は住居に隣接しない計画とします。		実施する		一部実施する 🖸	実施しない		該当なし	できる限りの対応を検討致します。
74	近隣への悪臭・騒音等を防止するため、窓、換気扇、排気口及び廃棄物置 き場の位置等に配慮します。	▽	実施する		一部実施する □	実施しない		該当なし	近隣への影響に配慮した位置に計画します。
	ボイラーやタービン、エンジン等、燃料を燃焼させる機器については、排出 ガスの少ないものを採用します。		実施する		一部実施する □	実施しない	 ✓	該当なし	燃料を燃焼する設備はありません。
76	屋外照明や広告照明、建築資材(ガラスや太陽光パネル等)による太陽の反射光など、近隣住民に対する光の影響を抑制します。	7	実施する		一部実施する □	実施しない		該当なし	近隣への影響に配慮した資材を選定致します。
	塗料は、水性塗料又は揮発性有機化合物 (VOC) の含有率が低いものを使用します。		実施する		一部実施する □	実施しない		該当なし	VOCの含有率の低いものを採用するよう努めます。
78	周辺に教育施設、福祉施設、医療施設 がある場合は、騒音、振動、通風及び採 光等に特段の配慮をします。		実施する		一部実施する □	実施しない	V	該当なし	周辺に教育施設、福祉施設、医療施設はありません。

中高層建築	中高層建築物(高さ10メートルを超える建築物)										
79	建築物の新設にともなう日照阻害・電 波障害の発生が想定される範囲を、現 地調査や机上計算等により事前に把握 し近隣住民に説明します。		実施する 		一部実施する □	実施しない	_ 	該当なし	10mを超えません。		
80	建築基準法の日影規制対象区域外で あっても、時刻日影図及び等時間日影 図を作成し、市と住民に示します。		*- 実施する		一部実施する □	実施しない	.	該当な し	10mを超えません。		
81	電波障害が生じた場合には、共同受信装置の設置などの対策を講じます。	 	実施する		一部実施する □	実施しない	<u>-</u>	該当なし	10mを超えません。		
景観まちづく	くりに貢献します。										
82	本市の自然条件や風土、歴史の流れの中で培われた地域の個性を尊重し、地域の景観に与える違和感や雑然さを軽減するように努め、地域全体として調和の取れたものとなるよう配慮します。	7	実施する		一部実施する □	実施しない		該当なし	周辺環境と調和した環境形成を行います。		
83	景観資源の質の向上と地域特性を活か したまちづくりに資するよう、「景観まちづ くり計画」の類型別景観まちづくり計画及 び地域別景観まちづくり計画の目標と方 針に基づいた計画・設計を行います。		実施する		一部実施する □	実施しない		該当なし	周辺地域と調和した景観形成を行います。		
84	景観形成に関わるガイドラインや方針を 有するエリアではガイドライン等を取り入 れた計画・設計を行います。	V	実施する		一部実施する □	実施しない		該当なし	景観ガイドラインを取り入れた計画とします。		
85	計画区域又は建設敷地がおおむね1ha を越えるときは、景観形成地区の指定に ついて協議します。		実施する		一部実施する □	実施しない	 Ø	該当なし	1.0hを超えません。		
86	事業内容に応じ、景観誘導基準・屋外広 告物の表示等に関する基準に基づき、景 観まちづくりに貢献します。		実施する		一部実施する □	実施しない	 ☑	該当なし	屋外広告はありません。		
安心安全の	まちづくりに貢献します。	_							T		
87	周辺状況に応じ、計画地内において、 歩行者が安全に通行できる空間を整備 します。	7	実施する		一部実施する □	実施しない		該当なし	敷地内に安全に歩行者通行できる空間を形成します。		
88	災害時の防災対策や緊急時に対応でき る設備機器を積極的に導入し、安心安全 に配慮した適切な整備を行います。		実施する		一部実施する ②	実施しない		該当なし	現段階では未決ですが、導入を検討致します。		
89	防犯対策等に対応できる設備機器を積 極的に導入し、安心安全に配慮した適切 な整備を行います。	 -	実施する		一部実施する □	実施しない		該当なし	オートロックシステムを導入します。		